

令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立城南中学校

4月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、生徒の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校生徒の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

■ 調査期日

令和5年4月18日(火)

■ 調査の対象学年

中学校3年生生徒

■ 調査の内容

(1) 教科に関する調査(国語、数学、英語)

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等に関わる内容。
 - ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容。
- 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定の割合で導入する。

(2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

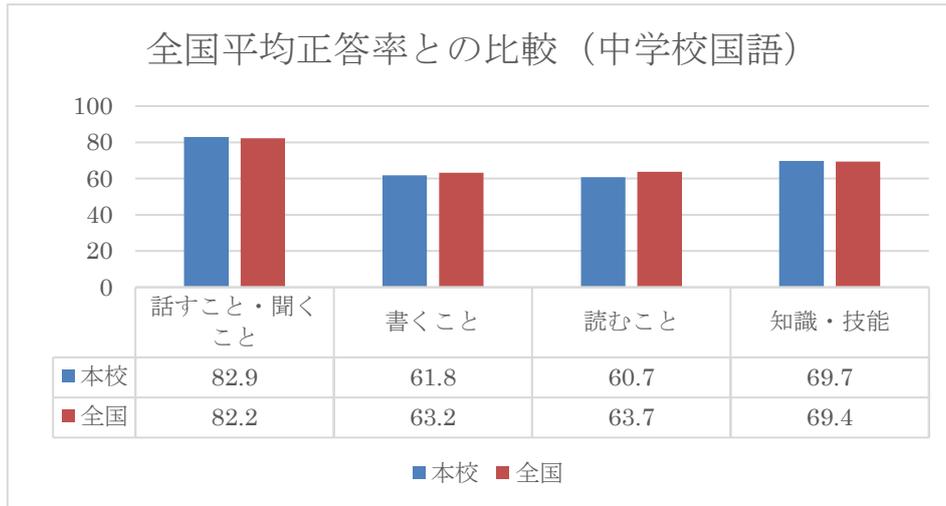
生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例) 国語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況など

■ 調査結果及び考察について

全国学力学習状況調査は小学6年生・中学3年生と限られた学年が対象であり、教科は国語と算数・数学、英語(中学校)に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野(問題)です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり「学校教育活動の側面」であることをご理解の上、ご欄ください。

■ 調査結果及び考察

1 国語



(1) 結果

全国平均を少し下回る結果でした。「話すこと・聞くこと」は 0.7 ポイント、「知識・技能」は 0.3 ポイント上回っていますが、「書くこと」は 1.4 ポイント、「読むこと」は 3 ポイント下回っています。また、「自分の考えを書く」「比較して書く」問題での無回答率が高くなっています。

(2) 成果と課題

今回の調査では、「話すこと・聞くこと」「知識・技能」の内容領域が全国平均を上回り、「書くこと」「読むこと」の内容領域では全国平均を下回りましたが、全体としては全国平均に近い(-1.8 ポイント)と言えます。漢字や文法などの基礎学力が身に付いており、また授業での『学び合い』を通し、「話すこと・聞くこと」が意識してなされている成果が表れていると考えられます。課題は、「思考・判断・表現」の「書くこと」(-1.4 ポイント)、「読むこと」(-3 ポイント)の正答率を上げることです。また、「記述式」の無回答率(-3.6 ポイント)を下げることです。記述式になると無回答率が高くなる傾向にあります。生徒に「読むこと」の力をつけるとともに、「書くこと」を通して表現する力を日々の授業で付けていくことが重要であると考えています。

(3) 学力向上のための取り組み

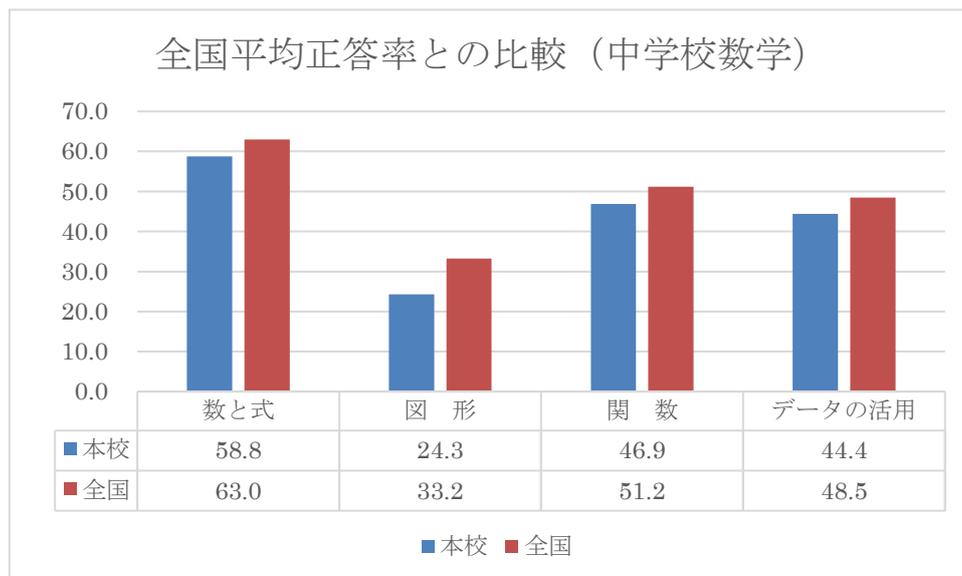
【学校では】

- 生徒が『学び合い』を通して、主体的・対話的で深い学びができるように工夫し、単元の前後に見通しと振り返りをします。
- 学習課題に沿って文章を適切に読み取れるように、発問、ノート、ワークシートなどを工夫します。また、授業の中で目的や条件に沿って書く場面を作ります。自分の考えや根拠を明確にして書く機会を増やします。
- 漢字の読み書き、慣用句や四字熟語などの語句の学習を積み重ね、語彙力を付けます。

【ご家庭では】

- 文章をたくさん読むことを大切にしてほしいと思います。文章を読み、要点や意図を捉えることは、国語科だけでなく、すべての教科の学力向上に不可欠です。
- 漢字練習の課題を根気よく丁寧にしてほしいと思います。漢字仮名交じり文の日本語を、確実に読み取るためには漢字の習得が欠かせません。繰り返し書いて覚えることが大切です。
- 自分の考えや意見を単語的な言葉ではなく、文章で相手に分かりやすく伝えるよう心がけてほしいと思います。普段から単語ではなく文章で話したり、書いたりする習慣を身につけてほしいと思います。

2 数学



(1) 結果

正答率で全国平均を下回っています。また、すべての領域で全国平均正答率を下回っています。また、無解答率を見ると、多くの問題で全国平均より高くなっています。

(2) 成果と課題

今回の調査では、「データの活用」領域の四分位範囲を求める問題の正答率が全国平均正答率を7.1ポイント上回っていました。「数と式」の基本的な問題は他の問題に比べて正答率が高くなっていますが、「図形」や「データの活用」の領域において、資料や文章を正しく読み取り数学的な見方や考え方を使得説明をする問題に課題が見られました。

日々の授業で、問題文を正しく読み取り、数学的用語の意味を正確に捉え、その用語を活用して説明する取り組みが重要であると考えています。

(3) 学力向上のための取り組み

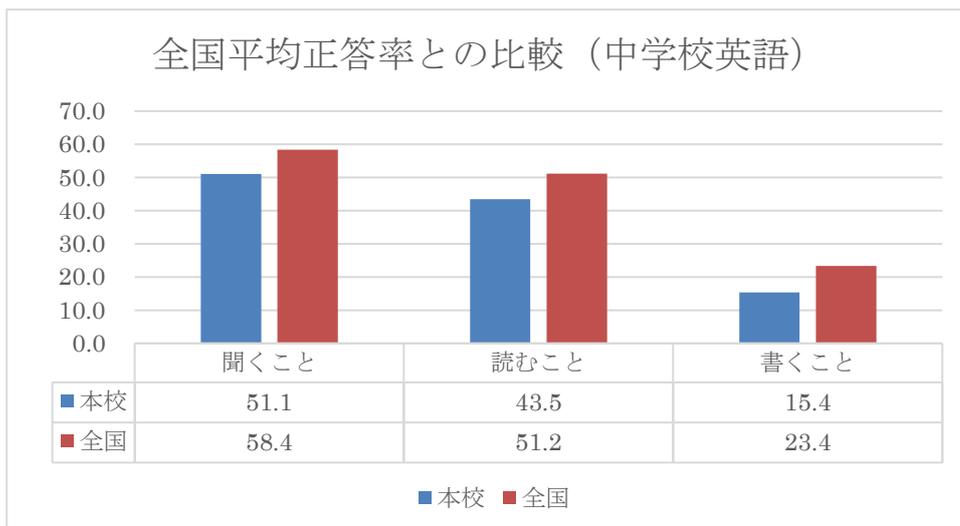
【学校では】

- 様々な見方や考え方ができるように、『学び合い』活動を取り入れていきます。また、自分の考えを、式や言葉を使って、論理的に書く機会を増やし、記述力の向上に努めます。
- 「数と式」は、定期的な小テスト、すくすくテストの実施によって計算が確実にできるようにします。
- 「図形」「データの活用」は、定期的に復習問題に取り組みせ、既習事項を想起させながら考えさせます。

【ご家庭では】

- 授業で取り扱った内容を、再度、家庭で取り組んでほしいと思います。学習内容を早いうちに振り返ることで知識や技能の定着が高まることが期待されます。ぜひ励ましの言葉かけをお願いします。
- 日常生活の場面で、数学的な課題を見つけ、楽しみをもって考えてみてほしいと思います。例えば、様々な建造物や物体から形の名称・面積・体積、時刻表から電車の平均の速さなど、物事を数や文字を使って論理的に説明する、等です。

3 英語



(1) 結果

全ての領域で全国平均を下回っています。

「聞くこと」、「読むこと」に比べ、「書くこと」の対全国比が低くなっています。

(2) 成果と課題

ほぼすべての問題で、全国平均を下回る結果でした。特に、「書くこと」の問題で正答率が低くなっていました。日々の授業の中でさまざまなパターンの問題を解いていく中で書く力を伸ばす活動を取り入れることが重要であると考えます。

また、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取るためには、話されること全てを聞き取ろうとするのではなく、何が自分にとって必要な情報かを判断した上で聞き取ることが重要です。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

- 学習者用デジタル教科書などを活用しながら、「聞くこと」の活動を繰り返し行い、情報を正確に聞き取ることができるようにします。
- 読んだことについて話す活動や、聞いたり読んだりしたことについて書く活動など、複数の領域を統合した言語活動の充実を図ります。

【ご家庭では】

- 授業以外でも英語を使う機会を増やすことや継続的な学習が英語力の向上につながります。英語への関心が高まるような励ましや称賛の言葉をかけてください。
- 英語学習のテレビ・ラジオ放送や英語学習用教材サイト等をご活用ください。（文部科学省のホームページでもたくさん紹介されています。）

4 生活習慣や学習習慣に関する調査

(1) 結果※「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」「どちらかと言えば当てはまらない」「当てはまらない」のうち「当てはまる」と回答した児童(生徒)の割合。

《生活習慣・自己肯定感・規範意識について》

調査項目	本校 %	全国平均 %
朝食を毎日食べていますか。	79.1%	78.6%
毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。	37.8%	34.7%
毎日同じくらいの時刻に起きていますか。	60.1%	54.8%
自分にはよいところがあると思いますか。	31.1%	37.2%
将来の夢や目標を持っていますか。	37.2%	39.4%
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	77.7%	71.7%
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	87.9%	80.3%

朝食・起床・就寝については全国平均を上回っています。「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムを大切にしていくことはとても良いことです。自分の良さや将来の夢や目標規の項目については、全国平均を下回っています。しかし、人の役に立つ人間になりたい、いじめはいけないことだと言える生徒が全国平均を上回り、規範意識が高い生徒が多いことがわかりました。

《家庭学習の様子》

調査の項目	本校%	全国平均 %
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	7.4%	15.3%
学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間勉強していますか。「3時間以上」	8.8%	10.3%
「2時間以上、3時間より少ない」	18.9%	23.4%
「1時間以上、2時間より少ない」	26.4%	32.1%
「30分以上、1時間より少ない」	24.3%	18.0%
「30分より少ない」	15.5%	9.9%
「全くしない」	6.1%	6.0%

家庭学習については2時間以上の生徒が全国平均を下回ってしまいました。まだ1時間未満の生徒が4割程度おり、中には全く家庭学習をしていない生徒もいました。授業の復習することで、学力が定着します。家庭学習の手引きをもとに家庭学習の意味を保護者や生徒に伝え、家庭学習の質の向上にむけて指導をしていきます。また、自分の目標に向かって計画を立てて家庭学習を行う習慣についても指導していきます。

(2) 改善に向けての取り組み

【学校では】

- 学校からは、自学ノート等、学年に応じた宿題を出し、毎日取り組んでいます。今後も、家庭学習につながるよう課題を出す、自分で計画的に学習に取り組めるよう工夫していきます。
- 始業前に朝の読書の推奨や、「すくすくテスト」(数学、英語の5分間小テスト)を実施したりなど、基礎学力の定着を目指した取り組みを行っています。

【ご家庭では】

- 学校だより、学年だより、授業プリント等をご覧になり、学校に関する会話をすることで、コミュニケーションを毎日取っていただきたいと思います。
- 家庭学習の時間をきちんと取ることは難しいと思いますが、目標をもって生活できるように励ましの声かけなどを今後も願います。また、情報通信機器を使っている時間が長すぎる生徒も見られます。使い方については、ご家庭でしっかりと話し合っ、各家庭のルールを決めていただくようお願いいたします。